

# 吟道月報

NO10  
48・5・5

## 頌心会

名の山行々を出した。立体吟も詩舞、劍舞  
幸道吟と多彩であった。

十月一日才十九回集大会には頌心より独吟  
四名詩舞荒城月夜の曲を五名で舞った。十一

### 頌心会の歩み(四十二年)

昭和四十二年二月下旬初めての試みとして図書館ホ  
ールを借りて講習会と銘打つて、プロなし順木同、入  
札かわり立ちかわり出吟して練成として見た。十二時  
半から四時半までで、逗子6、大船6、堀内8、一色  
10名が長物を交えて三々四回出吟した。参加者が予想  
外に少なかつた。

三月十二日に逗子市吟道連盟の大会を行つた頌心会  
名、吟友12名、詩舞5題と合めて盛会であつた。

五月二十一日には、図書館ホールを使用して才十八  
回集大会が南催され、頌心会より独吟6名、合吟には  
堀内一色の女性3名の常盤肌を抱くと、大船の女性8

月五日はじめて葉山の文化祭に才一回と銘打つて詩吟詩  
舞と邦楽の大会を行い、二十数名参加、以後定例の年中  
行事となつた。

九月一日、逗子吟道連盟が暴発的に解消して逗子市吟  
詠連として発足した。参加団体は頌心、吟友、金港、光  
、逗子吟詠、紫舟会と六団体約二〇〇名となつた。その  
才一回行事として十一月十二日才十七回逗子市文化祭に  
参加、頌心19、吟友7、金港10、逗吟3、光3、紫舟は  
名の出場を見た、又、沼向支部が黒田松野さんの骨折り  
で九月下旬に発足した。

十一月十九日には、図書館ホールで頌心会再建十周年  
吟道大会を南催した。吟友題、出吟者72名、詩舞3題、  
書道吟(松井先生書)を言み、吟力も向上し盛り上りも  
充分で、極めて盛会裏に終了した。

差分で極めて盛會裡に終了した。

## 碩心会 本部関係

◎ 四月二十六日逗子信用ホールに於て春季昇仙許証授手式が松井先生により左記に対し行はれ、その間約三十分新体詩可つりがね草の錬成を受けた。

準師範(5) 奥佐(2)、六段(17) 五段(7)  
中佐(19) 四段(49) 三段(34) 初佐(17)  
二段(23) 初段(30) 計二〇四名

以上により碩心会は 奥佐以上(18) 中佐(66)  
初佐(92)となる。

◎ 六月三日、逗子市詩吟舞連盟の春季大会が、一  
二、三〇分、一六、三〇分 図書館ホールで開催され  
る碩心より出席30名、塚行会紫川会より詩舞十題が

出演される多数の方の応援を願います。

◎ 六月十七日(日)図書館ホールで二、〇〇〜一六  
〇〇、紫舟会の詩舞温習会が、逗吟舞連、碩心会の後  
援で行われます。出演題数は組曲「日本の四季」を含  
め56題、多数の方の御声援をお願いします。

◎ 堀内支部の開設十周年記念吟道大会は、四月八日兼  
山町福祉会館で、各支部の賛助出演により極めて盛會  
で、もり上りも充分、内容も多彩で一五、三〇分無事終  
了しました。

御声援有難うございました。

◎ 四十八年一月〜六月の眞本部費、碩心会本部費各  
人一ヶ月五〇円、六ヶ月分を、六月五日までに総務ま  
でお届け下さい。登録員数二三〇名ですから、次の員  
の通り各支部の員数を割当てます。

蓮子(24)、堀内(60)、大船A(14)、大船B(14)、大船C(8)、戸塚(5)、一色(17)、長板(14)、下山口(16)、沼間(14)、桜山(15)、富士見(4)、建設(10)、山の根(7)、紫舟(2)、銀詠(6)……五ヶ月分 吟補(4)……五ヶ月分

## 会員の異動

### 新会員

銀詠支部	中村 八郎	蓮子市蓮子五の三の三七	電(7)二六二一
堀内支部	佐々間 貞子	葉山町堀内八八七	電(25)〇三三〇
リ	天羽 ミツ	葉山町堀内六六五	電(25)二二七四

### 退会々員

沼間支部	森 七景(乾居)
蓮子	岡本 正(乾居)
下山口支部	杉本幸三郎
"	杉山喜美子
"	若命 タマ
"	若命 キク
大船支部	牧田 定男

## 訃報

大船支部事務ヶ崎飯場にこの二月入会された城と茶洋氏四月二十四日脱着四で急逝されました、極めて熱心に精進の精進境めごましいものがありませんが、残念至極であります謹んで哀悼の意を表し御冥福を祈ります。

昭和46年度会計報告は、15周年大会の後始末その他の事情により末  
清につき47年度報告と一緒に取りまとめて下記の通り会計報告を致します。

### 願心会本部、昭和46年・47年度会計報告

45年度の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
45年度繰越金	57,040	事務用品 通信費	4,908
レコード立替金戻り	3,500	会員名簿、月報プリント代等	11,730
46年度春本部費として各支部より	29,680	会場借上料茶菓代	9,265
46年秋季許証料助成金	26,300	15周年大会助成金	40,000
〃 〃 本部費として各支部より	33,180	査定会不足金並に支部助成金	10,020
査定会残金繰込み	4,430	教本購入代	8,095
47年春季許証料助成金	33,200	吟道代金	7,500
15周年大会残金繰込み	7,953	逓行支部分離に伴う基金返金繰上金	12,600
田畑氏遺族より	1,000	泉本部費	95,430
47年春本部費として各支部より	24,620	大会費出吟料	39,825
〃 秋季許証料助成金	40,550	旅費	890
査定残金繰込み	8,100	見舞金香焚交際費	30,400
48年春季許証料助成金	72,350	松井先生謝礼金 坂岸先生お暮	38,000
47年秋本部費として各支部より	60,600		
計	402,503	計	308,663
		差引繰越金	93,840

以上の通り相違ありません

昭和48年5月7日

各支部長 殿

総務会計 三井要丞 (印)